

株式会社シード

2025年3月期 連結決算説明会

2025年5月23日
(証券コード:7743)

まだみぬ、世界は、美しい



目次

1. 2025年3月期 決算概要・見通し
2. 2025年3月期 トピックス
3. 参考資料

目次

1. 2025年3月期 決算概要・見通し
2. 2025年3月期 トピックス
3. 参考資料

代表取締役の交代

当社は、2025年3月31日開催の取締役会において、代表取締役の異動の決議をいたしましたので、お知らせいたします。

氏名	新	旧
浦壁 昌広	辞任	代表取締役社長
佐藤 隆郎	代表取締役社長	取締役 常務執行役員 研究開発本部長
杉山 哲也	代表取締役副社長 兼 管理本部長	取締役 専務執行役員 管理本部長

※2025年4月1日時点の役職

新しく代表取締役社長となる佐藤 隆郎は、現代表取締役社長より10歳以上の若返りとなり、また、当社の新卒入社から工学博士として研究開発部門を長らく牽引し、当社の主力ロングセラー製品である「Pure シリーズ」の開発に大きく貢献いたしました。

今後も、長期的な成長戦略の下、旺盛な研究開発をエンジンに、品質の高い国産製品を国内外のお客様にお届けするための体制強化を進め、当社の企業価値の回復と成長を実現いたします。

「シード1dayPureうるおいプラス乱視用」納期正常化

シード鴻巣研究所では生産能力増強の一環として2号棟別館を建設し、2024年7月の商業生産開始を経て、次第に在庫水準も回復してまいりました。2025年2月より遠近両用コンタクトレンズの「シード1dayPureマルチステージ」は、通常納期にてお届けしております。

さらに、受注後14日後発送としておりました、乱視用コンタクトレンズの「シード1dayPureうるおいプラス乱視用」を、2025年5月10日受注分から段階的に納期短縮をし、2025年5月28日より通常納期にてお届けいたします。

乱視用コンタクトレンズの納期正常化をもって、2024年第2四半期より発生しておりました納期遅延に関しては全て解消となります。

新規製造施設の4号棟の新設も進行中であり、供給力の強化を行ってまいります。



一部商品に関する価格改定

当社は、取扱いの一部商品において、1商品につき100円から500円程度の出荷価格改定を2025年7月1日より順次実施させていただくことといたします。

当社といたしましては、ここ数年にわたる円安の長期化や資源・エネルギー価格の高騰に加え、社会全体における人件費の上昇、物流を含めたサプライチェーン全体のコスト上昇といった社会背景において、全社をあげて生産性の向上・合理化等によるコスト削減に努めてまいりました。

しかしながら、このような状況が中長期にわたって続くことが予想され、企業努力だけでは従来の商品価格を維持することが困難であると判断し、やむを得ずこの度の価格改定に至りました。

■対象製品

- ・シード 1dayPure シリーズ
- ・シード Eye coffret 1day UV M シリーズ
- ・ベルミー
- ・ヒロインメイク 1day UV M



2025年3月期 サマリー

売上高

33,231百万円

前年同期比 +2.6%

- ・2号棟別館の稼働により生産数が増加したことが寄与
- ・しかしながら、設備増設に比例した生産の実現に時間を要したことと、第2四半期より発生した既存設備における機械トラブルによる生産数の伸び悩みによって、「Pureシリーズ」の販売活動が抑制

売上総利益

14,628百万円

前年同期比 +3.1%

- ・一時的な生産混乱と新規製造設備の立ち上がり際に際しての生産効率の低下が生じたが、生産数の増加により原価率低下
- ・円安の影響を受け、輸入商品の価格が当初の想定よりも上昇

営業利益

1,562百万円

前年同期比 △23.8%

- ・第1四半期に一過性の販管費として、本社移転に伴う費用が発生
- ・人員増加・処遇改善に伴う人件費の上昇

国内の状況

- 近視人口増加に伴う装用人口の増加や高齢化を背景とした遠近両用タイプの需要拡大等によるスペシャリティレンズの伸長、円安・資源価格の高止まりといった様々なコスト上昇要因による価格転嫁が進むことと歩調を合わせて成長
- オルソケラトロジーレンズは、コンタクトレンズ市場全体の成長を大幅に上回るスピードで成長

2025年3月期 連結決算ハイライト

連結

〔百万円〕

百万円未満切捨て

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	前年同期 増減額	前年同期比	2025/3期 通期見通し (2025年5月7日公表)
売上高	30,593	32,396	33,231	+834	+2.6%	33,200
売上総利益	11,623	14,183	14,628	+444	+3.1%	—
(粗利率)	(38.0%)	(43.8%)	(44.0%)	—	(+0.2%)	—
営業利益	629	2,050	1,562	△488	△23.8%	1,500
(営業利益率)	(2.1%)	(6.3%)	(4.7%)	—	(△1.6%)	(4.5%)
経常利益	554	2,059	1,333	△725	△35.3%	1,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	△316	1,964	1,092	△871	△44.4%	1,050

事業別売上高

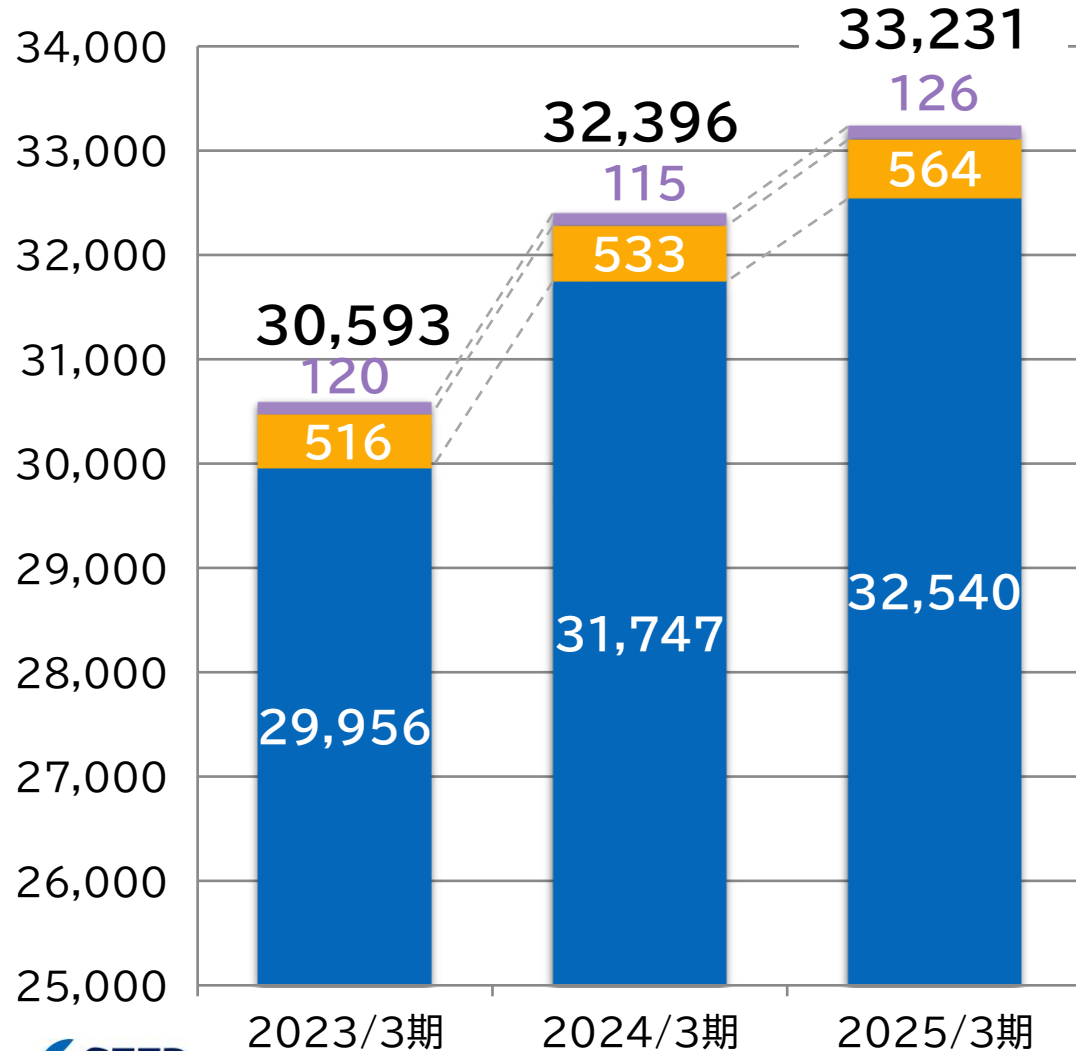
連結

※コンタクトレンズ:光学器械含む ※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]

百万円未満切捨て

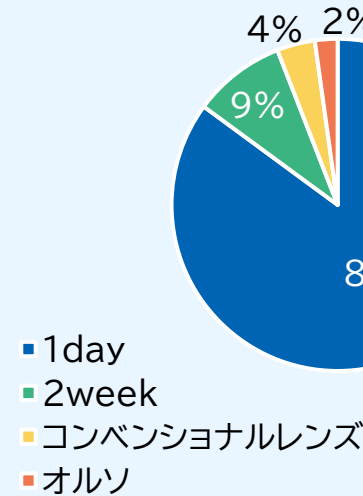
■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他



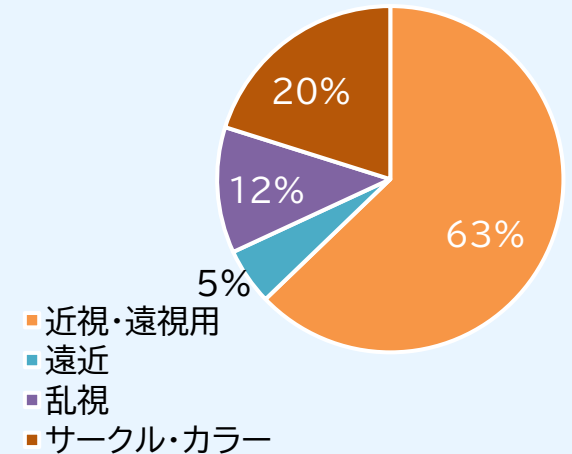
© SEED Co., Ltd. All Rights Reserved.

単体

売上高CLカテゴリー比率



売上高1dayカテゴリー比率



カテゴリー別対前期増減比率(単体卸売ベース)

ワンデーピュア	4.0%増	2ウィークピュア	3.2%減
ワンデーファイン	14.6%減	サークル・カラー	1.9%増
オルソケラトロジー	21.4%増	遠近両用	1.9%増

※2024年2Qより乱視・一部遠近両用において納期遅延が発生
→2025年5月28日をもって全て解消
※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計(東レ製品は除く)

販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て
2024年3月期
販管費実績

人件費

3,805

+418
(111%)

広告
宣伝費

940

+378
(140%)

研究
開発費

2,132

+24
(101%)

物流
関連費

2,117

△102
(95%)

その他

3,136

+216
(107%)

12,133

+932
(108%)

2025年3月期
販管費実績

4,223

1,318

2,156

2,015

3,352

13,066

- 人件費 : 人員の増加・処遇改善、教育訓練の充実により、前年同期比で増加
- 広告宣伝費: 国内のキャンペーン・イベントなどの広告活動の活性化や下期より本格的に活動を開始したコーポレートブランディング浸透に係る費用のため前年同期比で増加
- 研究開発費: スマートコンタクトレンズ開発費用、シリコーンハイドロゲルをはじめとした複数の治験関係費用により前年同期比で微増
- 物流関連費: 国内の注文・発送形態の見直し及び、海外発送の効率化により配送経費を削減、前年同期比で減少
- その他 : 第1四半期に一過性の費用として、本社移転に伴う費用/インフラ整備費用(100百万円)が発生
ブランド戦略・価値向上のためのコーポレートブランディングに関する費用の発生
基幹システムや情報セキュリティ関連費用、PCの入れ替え費用などによる増加
2024年6月より新社屋の減価償却費の計上を開始、仮社屋の賃借料と相殺

参考資料: 販管費の状況

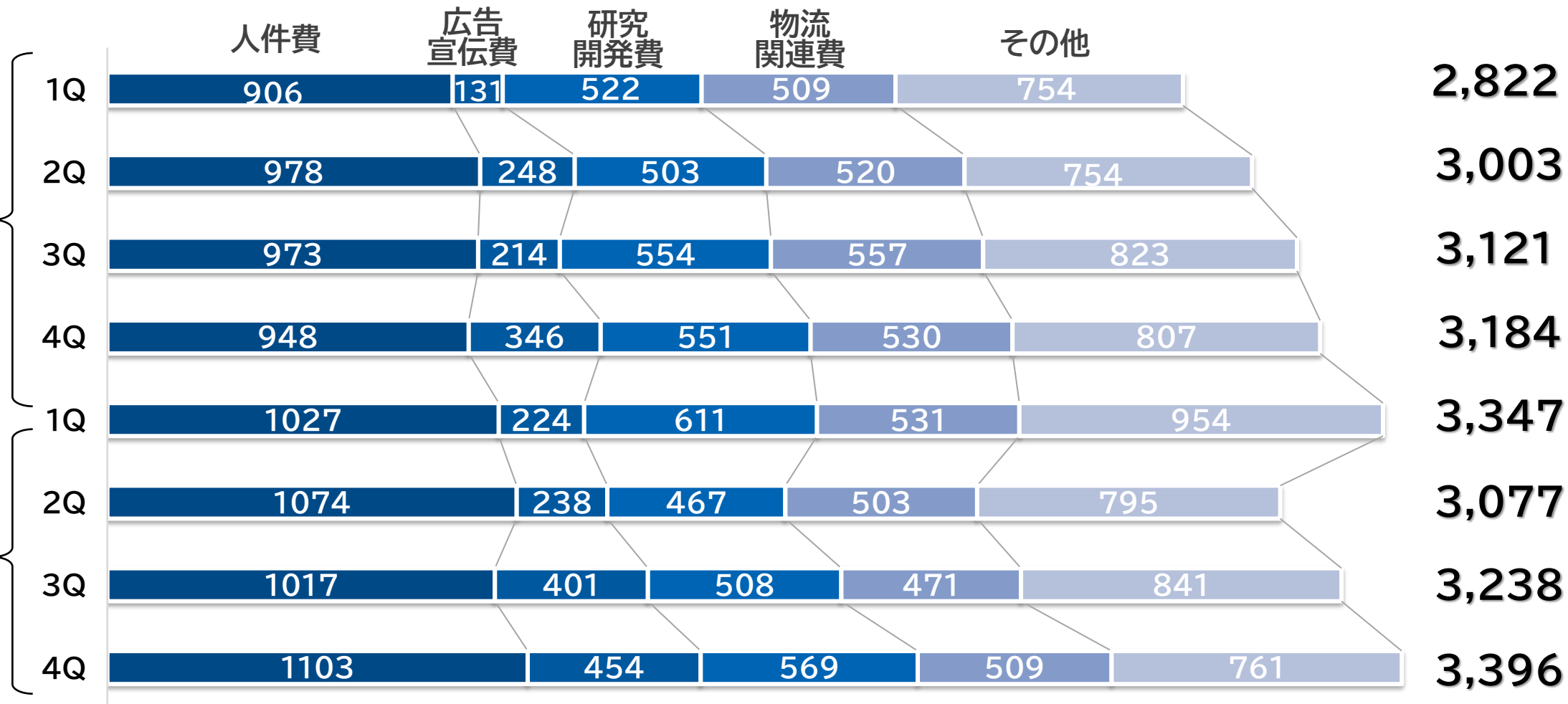
連結

[百万円]

百万円未満切捨て

2024年3月期
販管費実績

2025年3月期
販管費実績



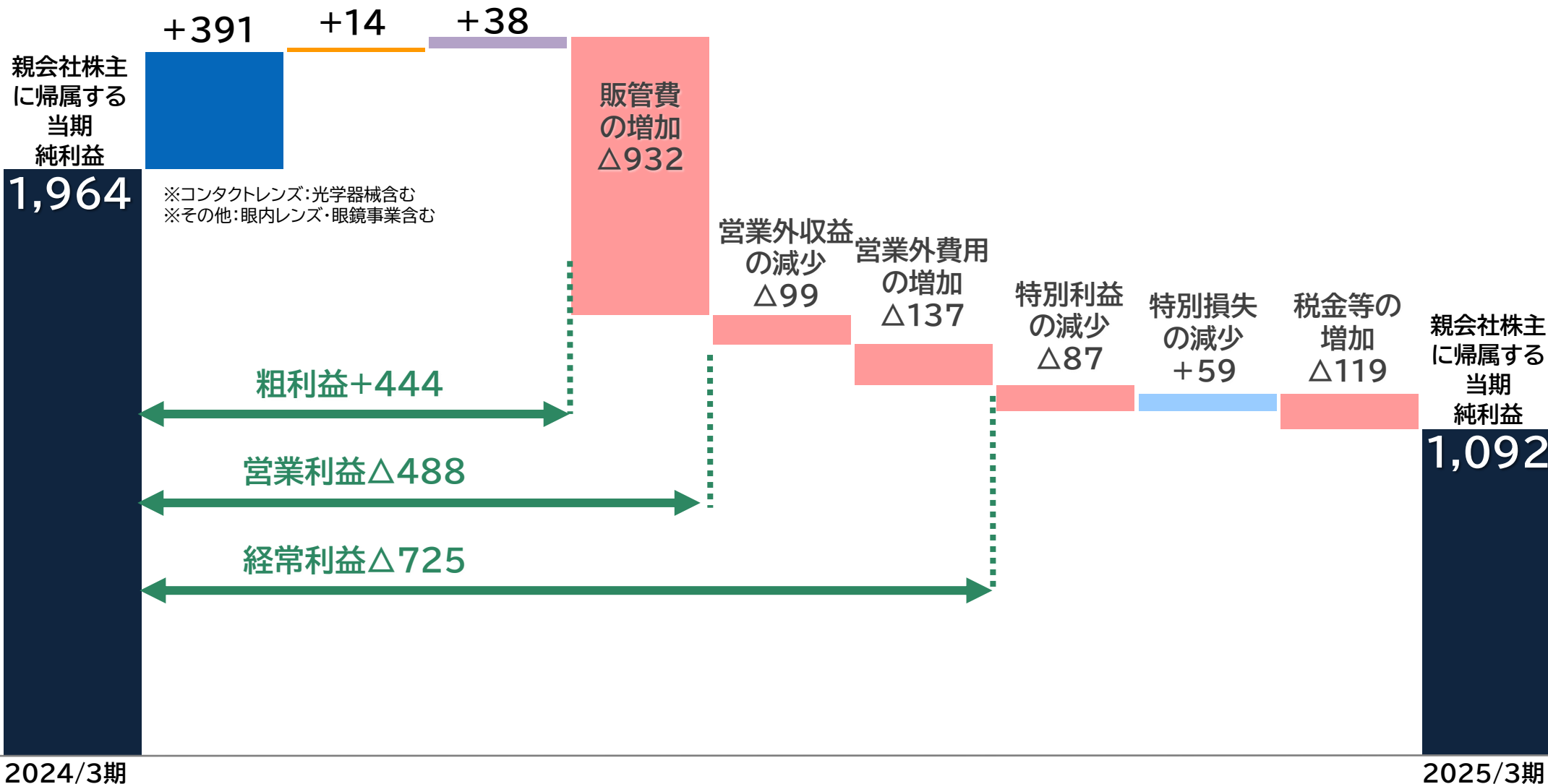
利益増減分析

連結

■コンタクト ■ケア用品 ■その他

[百万円]

百万円未満切捨て



財務状況推移

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024/3月末		2025/3月末		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	49,574	100.0	51,760	100.0	+2,186
流動資産	22,322	45.0	20,677	39.9	△ 1,644
内 現預金	9,889	19.9	7,116	13.7	△ 2,772
商品及び製品	4,776	9.6	5,588	10.8	+811
貸倒引当金	△ 24	0.0	△ 26	△ 0.1	△ 2
固定資産	27,252	55.0	31,083	60.1	+3,831
内 有形固定資産	23,989	48.4	27,827	53.8	+3,837
無形固定資産	1,042	2.1	923	1.8	△ 118
負債の部計	31,923	64.4	33,375	64.5	+1,451
流動負債	19,566	39.5	18,139	35.0	△ 1,426
内 短期借入金	13,498	27.2	12,288	23.7	△ 1,209
短期リース債務	1,410	2.8	1,852	3.6	+441
固定負債	12,357	24.9	15,236	29.4	+2,878
内 長期借入金	4,893	9.9	6,799	13.1	+1,905
長期リース債務	4,380	8.8	5,322	10.3	+941
純資産の部計	17,650	35.6	18,385	35.5	+734
負債・純資産計	49,574	100.0	51,760	100.0	+2,186

鴻巣研究所2号棟別館
建築費用の支払い

鴻巣研究所2号棟別館竣工
本社新社屋竣工により増加

本社新社屋建設資金
繋ぎ資金を長期借入金へシフト

本社新社屋建設に伴う長期借入金
の増加

鴻巣研究所2号棟別館への新規設備
導入によるリース債務の増加

キャッシュ・フロー | 主要項目

連結

〔百万円〕

百万円未満切捨て

	2024/3期	2025/3期	前期比較
営業活動によるC・F	6,023	2,978	△ 3,044
内 税金等調整前四半期純利益	2,081	1,326	△ 754
減価償却費	2,766	3,319	+552
棚卸資産の増減額(△は増加)	664	△ 673	△ 1,337
投資活動によるC・F	△ 3,763	△ 4,574	△ 810
有形固定資産取得	△ 3,806	△ 4,683	△ 876
無形固定資産の取得	△ 25	△ 38	△ 13
財務活動によるC・F	2,644	△ 1,127	△ 3,771
内 短期借入金の純増減額	995	△ 1,050	△ 2,045
長期借入金の借入	1,878	3,900	+2,022
長期借入金の返済	△ 2,183	△ 2,178	+5
リース債務の返済による支出	△ 1,086	△ 1,345	△ 259
現金及び現金同等物 期末残高	9,852	7,078	△ 2,774

鴻巣研究所の新規製造設備増設
本社新社屋建設

2号棟別館稼働によって
在庫を積み上げ

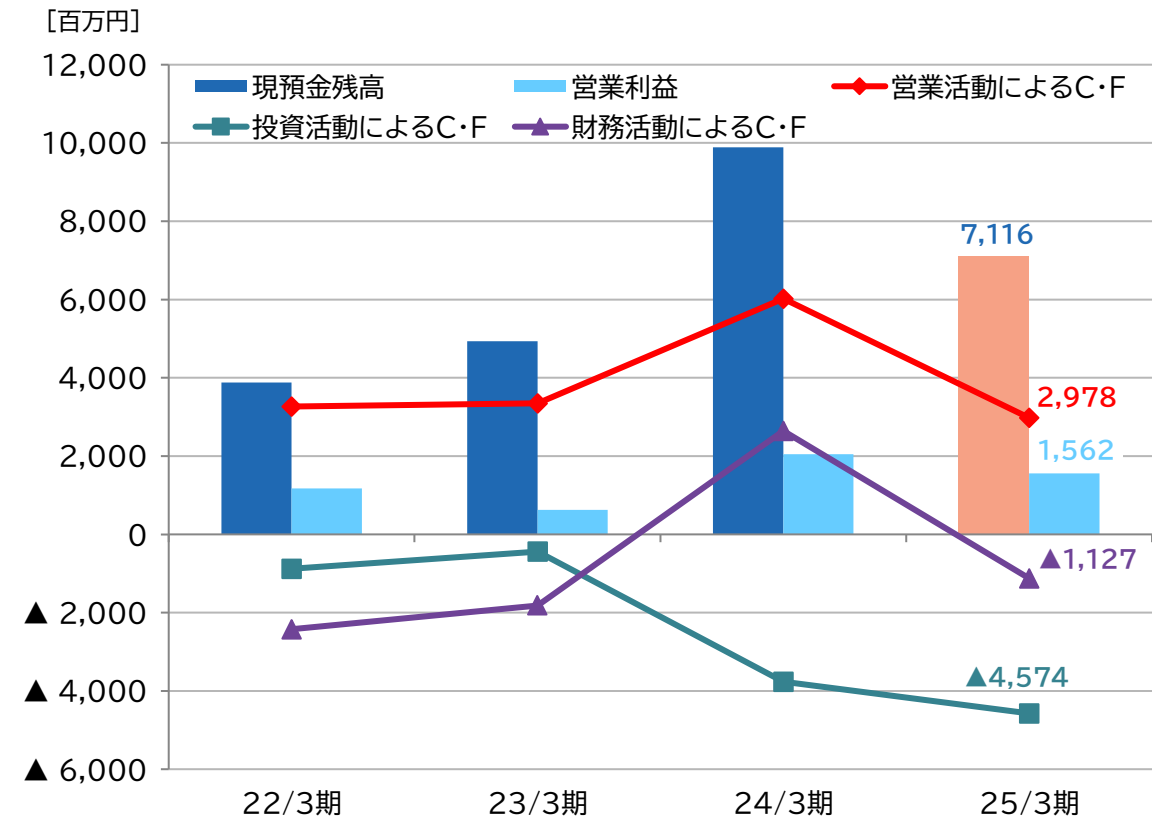
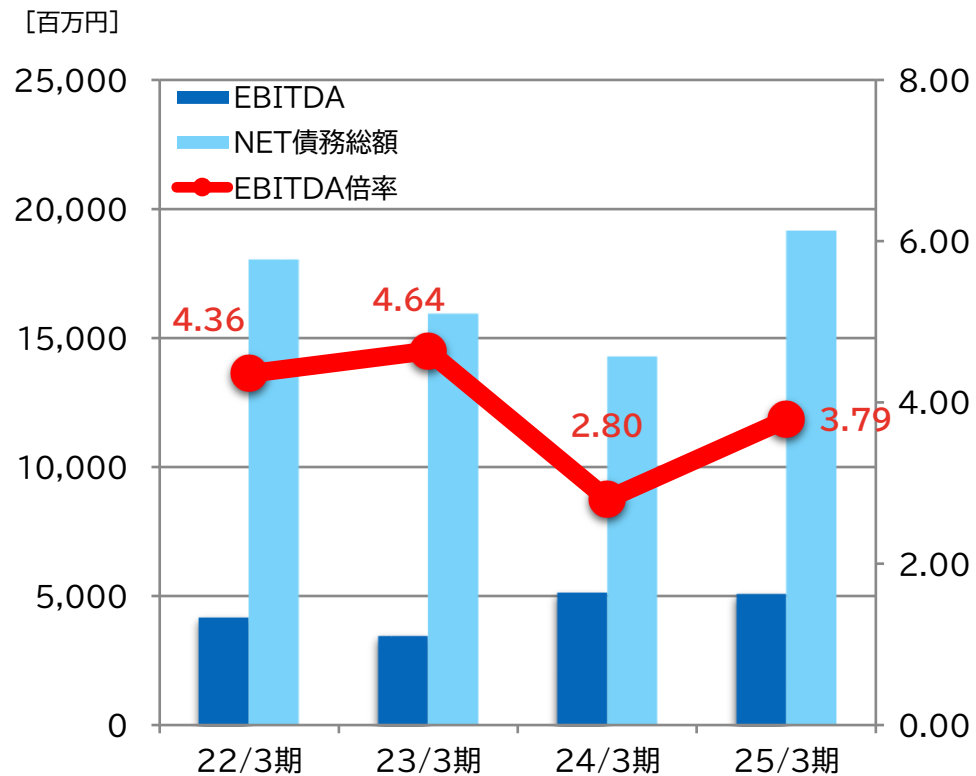
鴻巣研究所の新規製造設備増設
本社新社屋建設

鴻巣研究所2号棟別館への新規設備
導入によるリース債務の増加

キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結 [百万円] 百万円未満切捨て

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期
EBITDA	4,218	4,140	3,438	5,102	5,055
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	14.7%	14.4%	11.2%	15.8%	15.2%



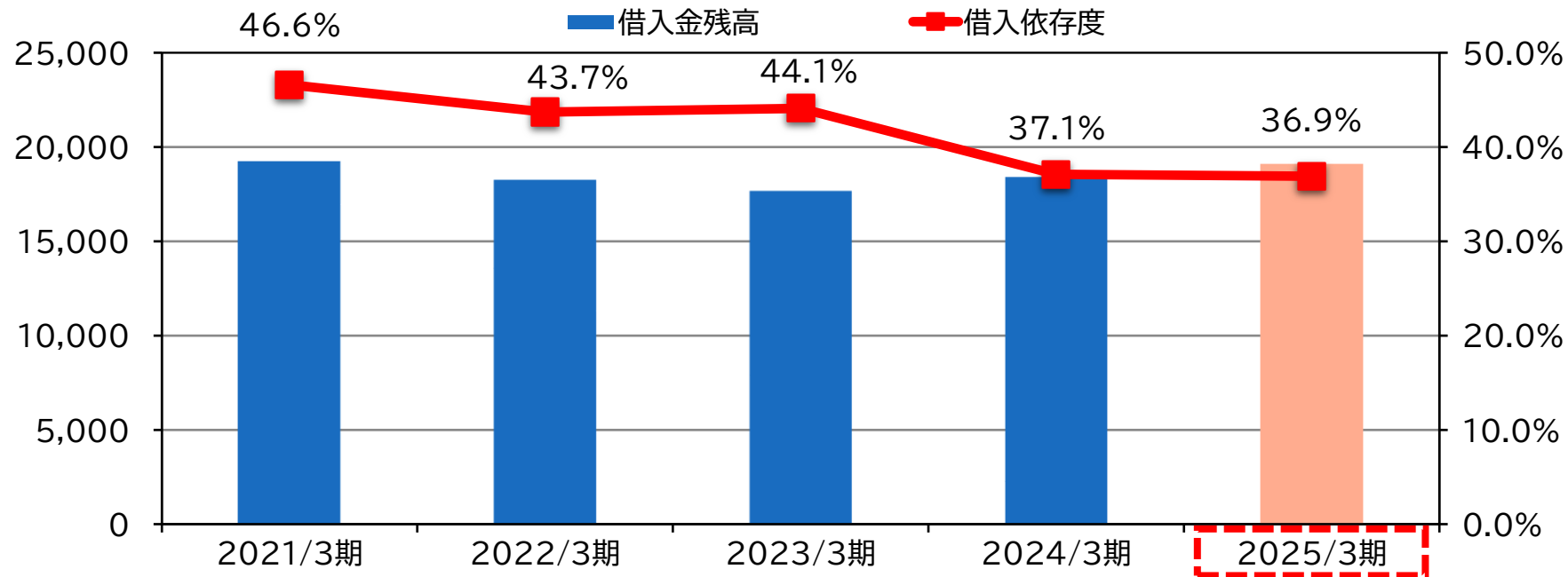
◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

財務・株価指標 | 推移

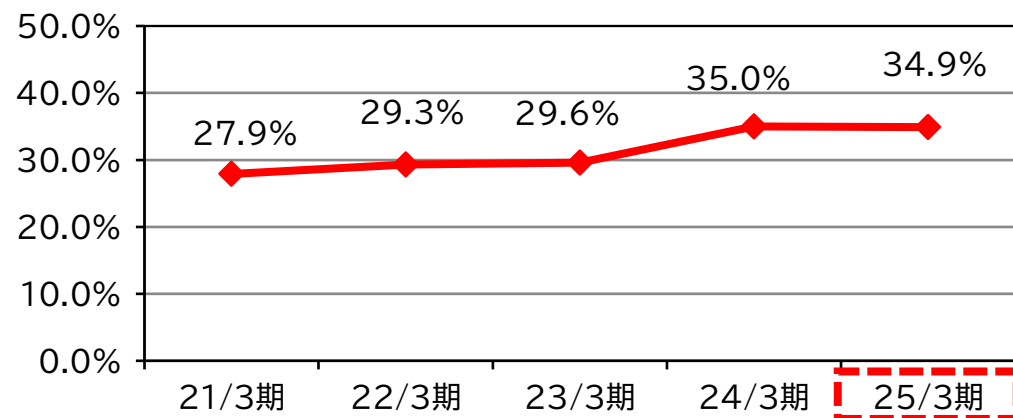
連結

[百万円]

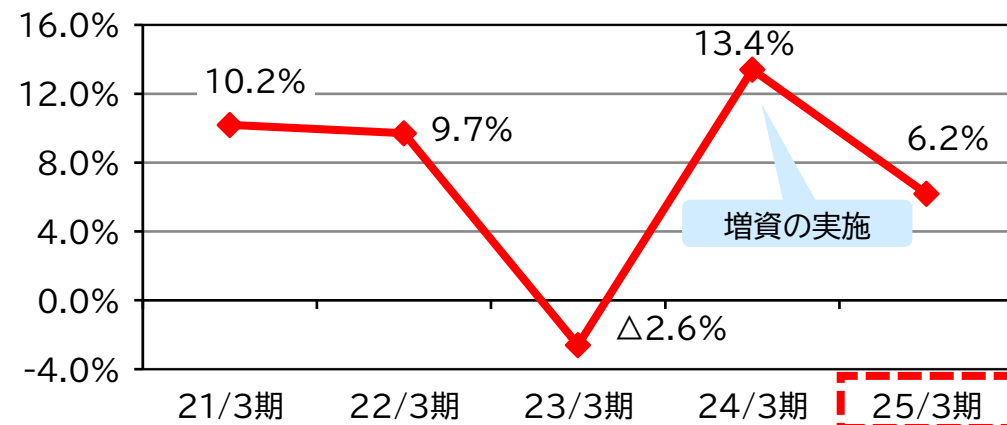
◆借入金の推移



◆自己資本比率



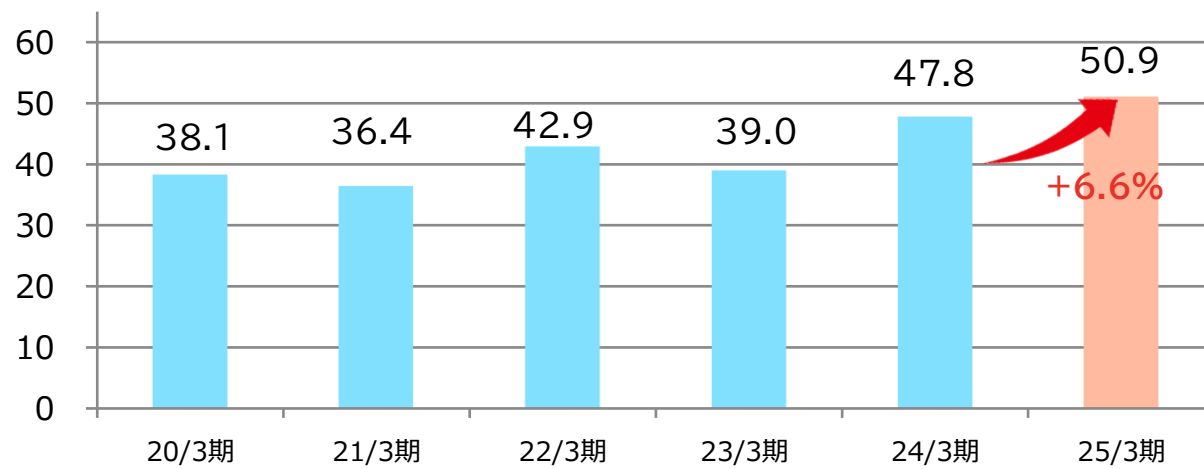
◆自己資本当期純利益率(ROE)



国際展開



海外売上高推移 [億円]



※現地法人売上+当社から現地代理店への卸売合計

主な海外商品

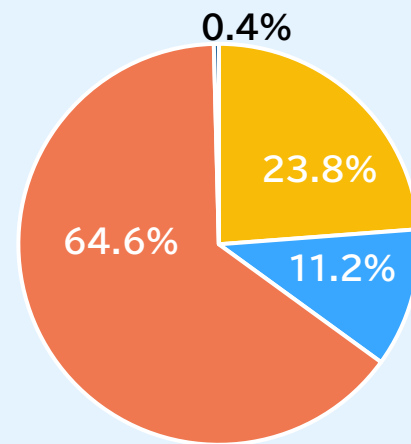
【コンタクトレンズ】



【ケア用品】



◆海外売上高構成比(2025/3期)



- 中国(香港・マカオを含む)
- その他アジア
- 英国・欧州
- その他

目次

1. 2025年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 トピックス
3. 参考資料

2025年3月期トピックス 企業価値向上に向けた取り組み

当社グループは連結売上高500億円を達成を目指し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保することを、2024年4月を起点とする中期経営計画として掲げており、計画の達成とその先の成長を見据えた取り組みを積極的に行っております。

2024年
4月

鴻巣研究所
2号棟別館竣工



6月より順次稼働となり、
10月より本格稼働

2024年
5月

シード新本社竣工



旧社屋の老朽化に伴い、
労働生産性や創造性の発揮
を目的とした建て替え

2024年
10月

新パーパス策定
コーポレートロゴ一新

まだみぬ、世界は、美しい



当社の存在意義を明確化した
パーパスを策定、さらにコー
ポレートロゴの一新によって
コーポレートブランドを再構築

2024年
11月

資本コストや株価を
意識した経営の実現に
向けた対応に関する
お知らせを開示

鴻巣研究所4号棟着工



※完成パース

2026年1月竣工予定

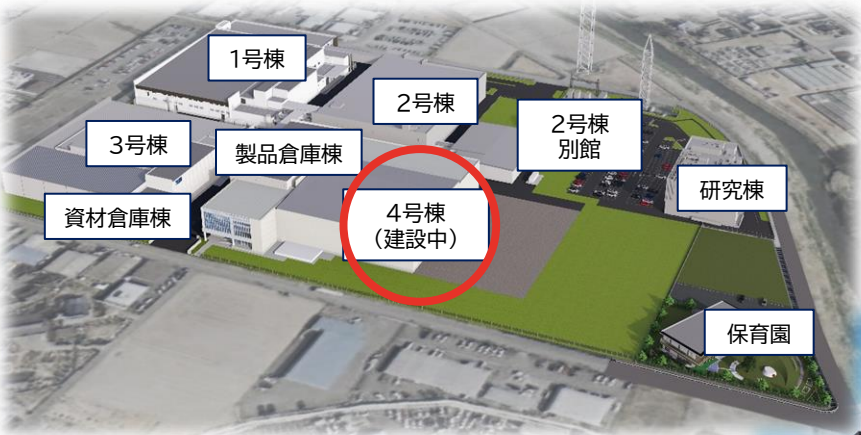
2025年
1月

マテリアリティの
特定を行い、公表

当社が解決すべき
社会課題や、社会要請を
「シードのマテリアリティ」と
特定し、ステークホルダーと
のエンゲージメントを
高める指標といたします

※2025年3月期における取り組みの一例

2025年3月期トピックス 鴻巣研究所生産力の増強

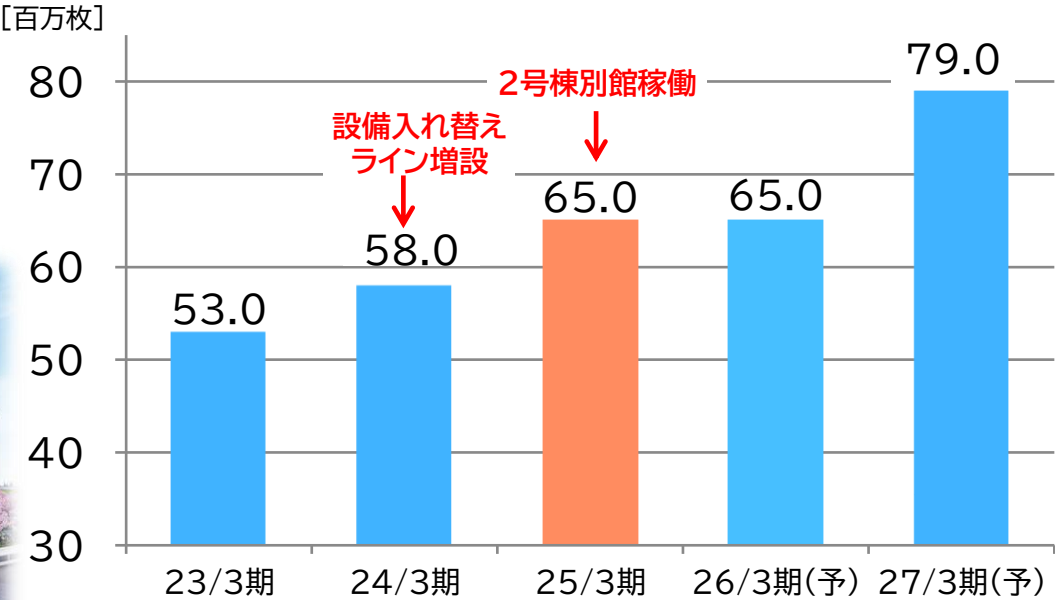


鴻巣研究所全体の鳥瞰図



鴻巣研究所4号棟 完成パース

＜最大生産枚数推移(使い捨てコンタクトレンズ)(月間)＞



※ 使い捨てコンタクトレンズ相当生産数

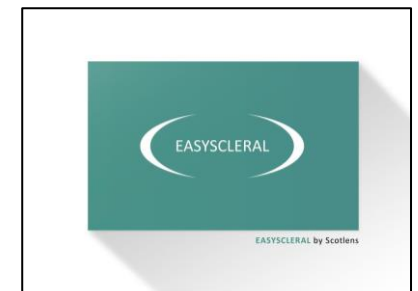
時期	計画内容	最大生産枚数／月※	進捗状況
2025年3月期	2号棟 別館	5,800万枚→6,500万枚	2024年10月より本格稼働
2027年3月期	4号棟 第一期	6,500万枚→7,900万枚	着工:2024年11月 竣工予定:2026年1月 2026年3月より順次稼働予定

2025年3月期トピックス CLPL社がScotlens Holdings Limitedの株式 100%を取得

本株式取得は、オルソケラトロジーが英国やアイルランド地域においても広がりつつあることを踏まえて、スコットランドに本拠を置き、一人ひとりの目の形状に合わせてカスタマイズされた特殊レンズの分野において長い業歴と実績を持つ Scotlens Holdings Limited(以下、SH 社)を通じて、より広範な特殊レンズをカバーすることを目指したものであります。

加えて、従来手薄であったスコットランドやアイルランド地域に対して SH 社の販売網を通じて、CLPL 社及びその事業子会社である UltraVision International Limitedのスペシャリティレンズや当社の使い捨てコンタクトレンズのクロスセルによりグループとしてのシナジー効果を生み出すことを目的としております。

名 称	Scotlens Holdings Limited
事業内容	コンタクトレンズ製造
設立年月日	2018 年 4 月 18 日



2025年3月期トピックス オルソケラトロジーレンズ

寝ている間に視力矯正ができる
オルソケラトロジーレンズ

寝る時にレンズを装用することで角膜形状を変化させ、起床後にレンズを外して日中は裸眼で過ごすことができる治療法

視力を矯正したい人が



夜にレンズをつけて寝ると...



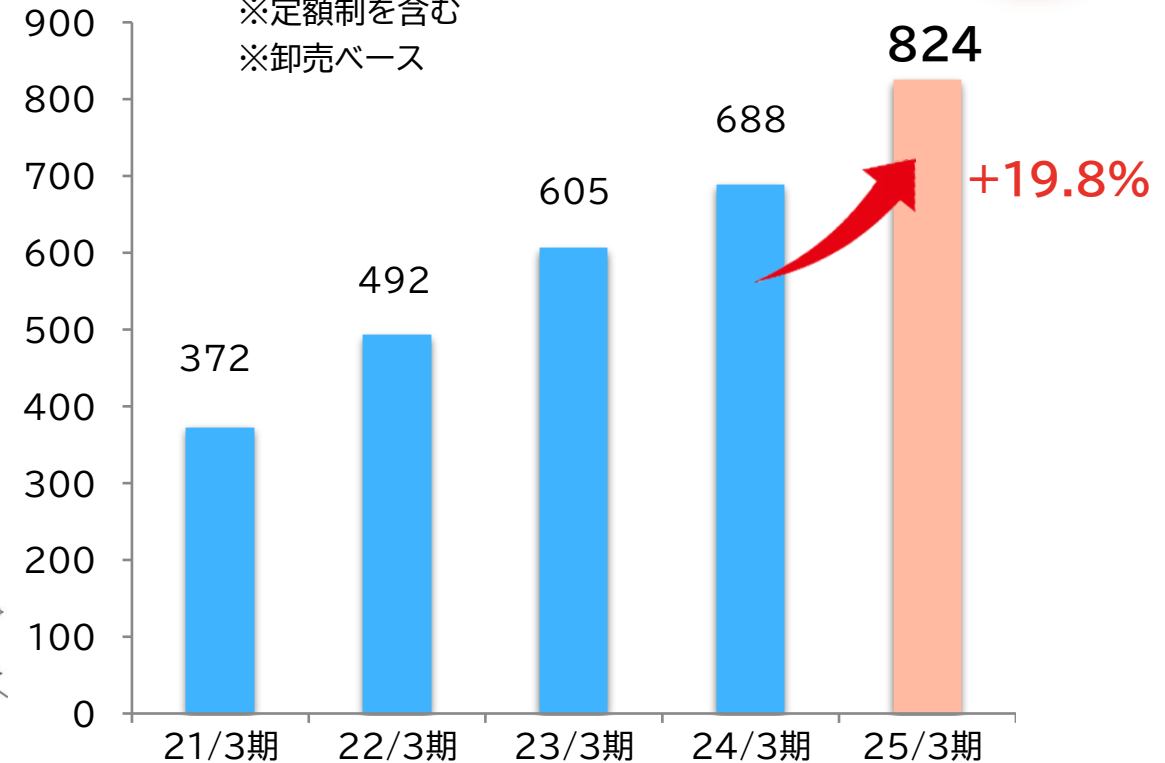
朝起きると、日中の裸眼視力が矯正される



〔百万円〕
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上

※定額制を含む
※卸売ベース



国内での
マーケットシェア
50%以上
※当社調べ

国内外の状況：日本、東南アジア、香港、インド / 欧州(Wöhlk社製品を販売)販売中

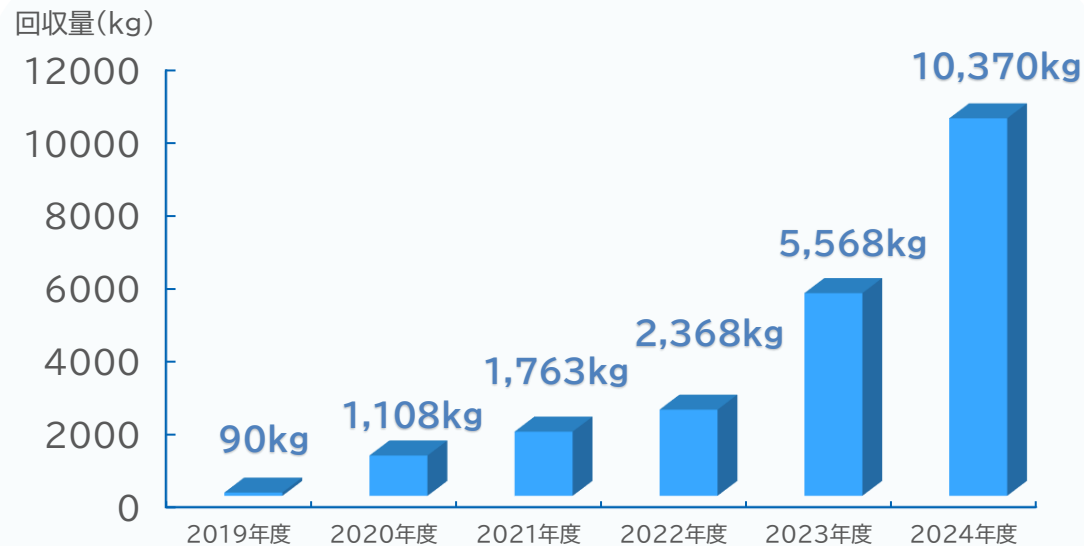
2025年3月期 サステナビリティ・ESGの取り組み

BLUE SEED PROJECT ～海に愛（Eye）を～



▶▶使い捨てのコンタクトレンズのブリスターを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト

(2025年4月24日現在)



施設名	施設数
眼科・販売店 (関連子会社を含む)	1,103施設
企業	53社
学校	11校
行政	3市町村

お客さまにお持ちいただいたブリスターはリサイクル事業者へ販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わります。(サーキュラーエコノミーの実現)

また、リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付を行っております。

2025年3月期 今後の成長に向けた取り組み

Personalization



お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発
乱視遠近、カスタムオルソ・スクレラルレンズ
(Scotlens)



シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズの開発



国内産初の使い捨てレンズ



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

テクニカルレンズの開発



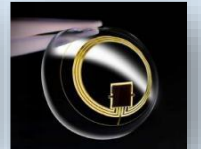
近視進行抑制

近視進行抑制分野の用途拡大を目指した治験の実施



シリコンコンタクトレンズの開発

次世代の高酸素透過レンズ開発



スマートコンタクトレンズの開発

- ・トリガーフィッシュに続く、新たなデバイスを内蔵したスマートコンタクトレンズの開発
- ・革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))のNICT事業に採択
- ・コンタクトレンズへの電子部品等実装技術の標準化および、大規模集積回路開発に成功、プラットフォーム公開



新分野への進出

内視鏡フード、リング状デバイス等のコンタクトレンズの技術を生かした新たな分野への進出

次世代商品の開発

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)

2024年1月12日開示 3ヶ年中期経営計画

【中期経営計画の位置付け】

- 連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保
(売上・業容拡大の足枷となっている商品供給力の不足を補うため、積極的な設備投資を行い、世界に伍する生産能力の整備を行う)
- 省人化生産を実現し、競争力を維持できる生産体制の構築
- 更なる品質の向上をすすめ、安心安全を追求
- コーポレートブランドの再構築による企業価値の向上
- 環境経営の推進
- 人的資源の強化を通じた事業基盤の整備

生産力を抜本的に改善する3年間となっており、大幅な収益改善は4号棟完成(2027年3月期)以降となります。2号棟別館の稼動や歩留まりの着実な改善等による生産力のアップにて収益力の改善にとどまりますが、将来の成長に対するコストをこの期間にかけることにより、中長期的な当社の成長へと繋がります。

2026年3月期見通し

連結

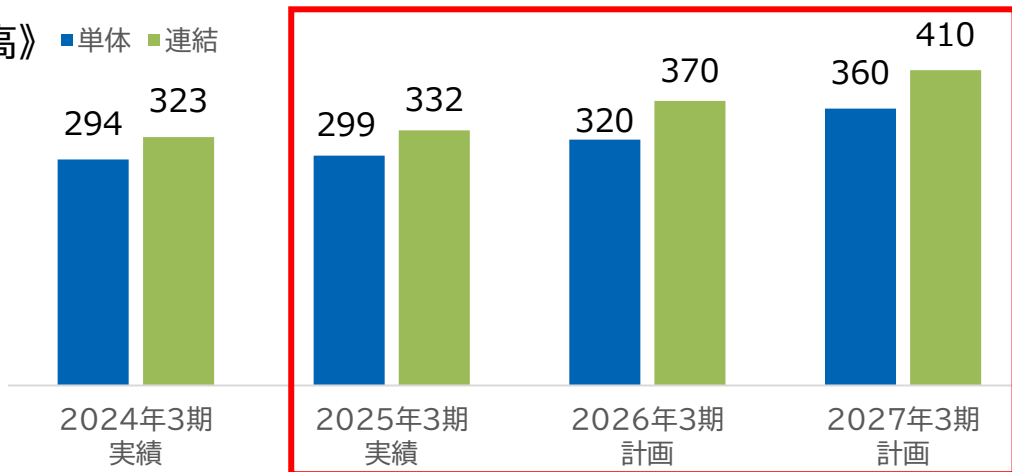
[百万円]
百万円未満切捨て

	2025年3月期	2026年3月期見通し	<参考> 前期比較	
			増減額	増減率
売上高	33,231	37,000	+3,769	+11.3%
営業利益	1,562	2,000	+438	+28.0%
(営業利益率)	4.7%	5.4%		—
経常利益	1,333	1,600	+267	+20.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,092	1,100	+8	+0.7%

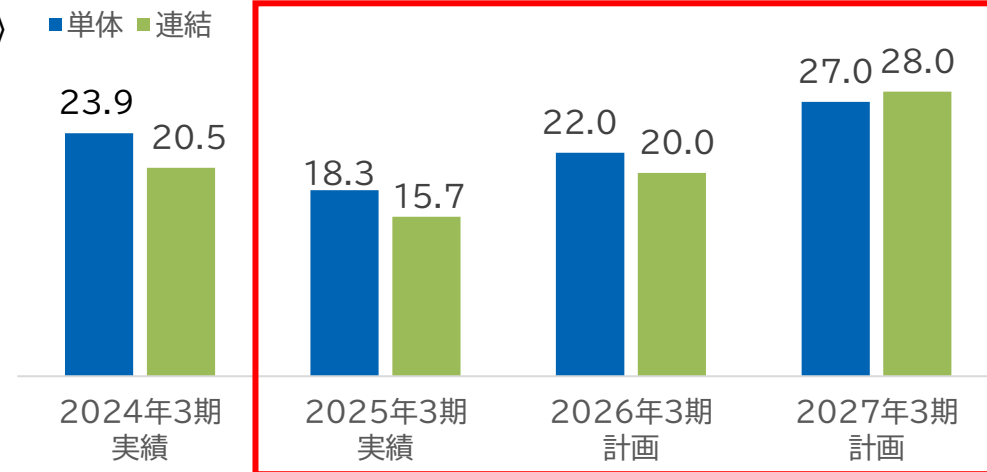
- 「シード1dayPureシリーズ」を中心として、乱視用や遠近両用コンタクトレンズ等のスペシャリティレンズの拡販に注力
- 乱視用と一部の遠近両用コンタクトレンズにおいて発生していた長期間にわたる納期遅延の影響で流出した顧客の回帰に加え、新規顧客獲得に向けた積極的な営業戦略を推し進める

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)財務目標

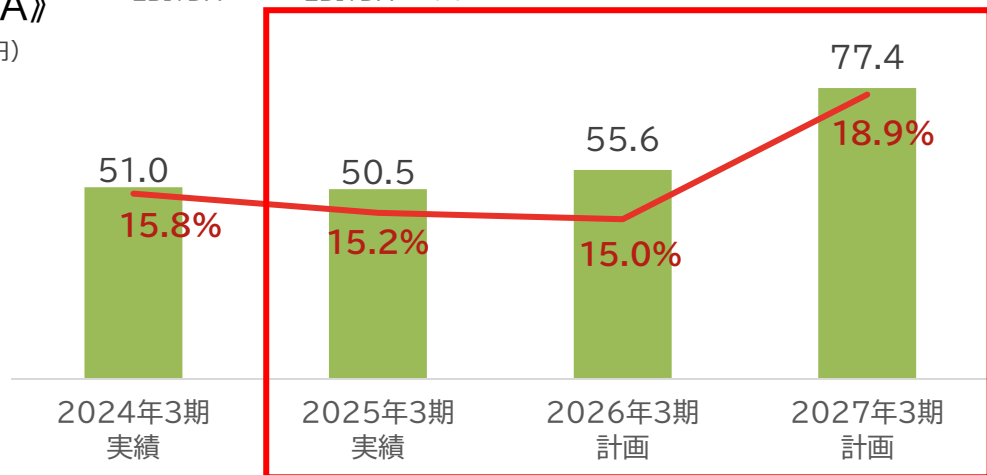
《売上高》 ■単体 ■連結



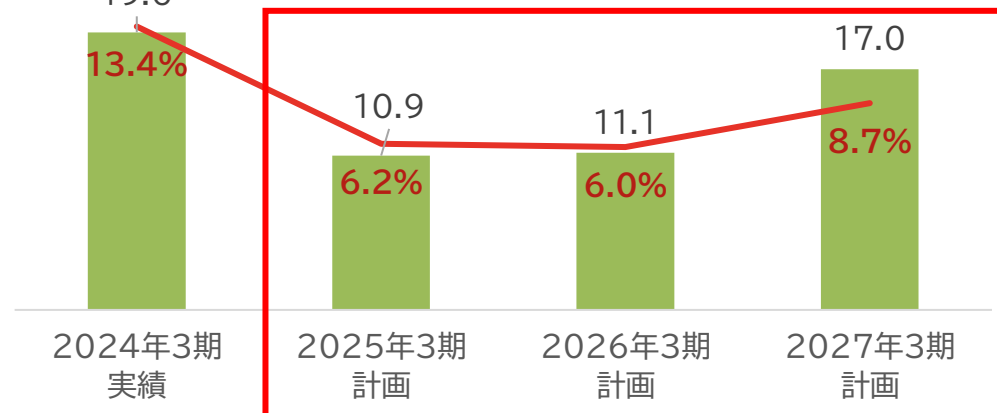
《営業利益》 ■単体 ■連結



《EBITDA》 (単位：億円) ■ EBITDA ■ EBITDAマージン



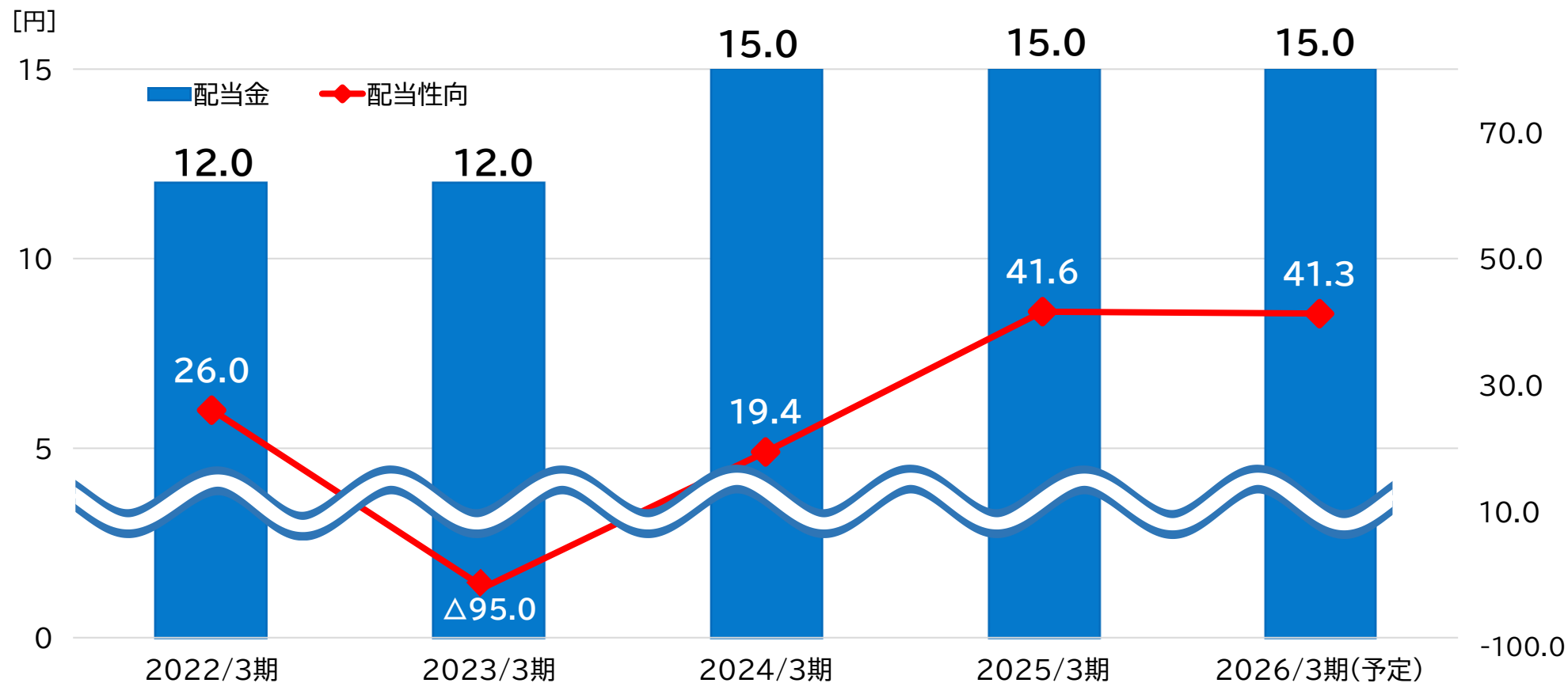
《ROE》 (単位：億円) ■ 親会社に帰属する当期純利益 ■ ROE



- 2027年3月期は連結売上高 410億円とし、連結売上高 500億円を達成するための足場固めを行う
- 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する
- キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 77.4億円を目指す
- 利益効率を高め、ROE 8.7%(2027年3月期)を目指す

株主還元

適切な配当施策の実施のため、配当性向30～40%を目標とした配当の継続を目指す。



今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額
1株につき 15円

配当利回り: 3.1%

※2025年3月31日 株価(終値)487 円

目次

1. 2025年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 トピックス
3. 参考資料

参考資料:会社概要

本社	東京都文京区本郷2-40-2
設立	1957年10月9日(昭和32年)
上場	1989年12月(平成元年12月)
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	3,532百万円
従業員	1,396名(連結) ※2025年3月末現在、アルバイト・契約社員を含む
営業所	8(札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在11(新潟・静岡 他)※2025年3月末現在
工場・研究所	シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)

●沿革

1957年10月 会社設立 商号「株東京コンタクトレンズ研究所」
 1987年2月 商号変更「株シード」
 1989年12月 社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録
 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
 2016年6月 研究棟竣工

2017年 9月 鴻巣研究所3号棟竣工
 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
 2021年 5月 株式会社ユニバーサルビュー合併
 2024年 4月 鴻巣研究所2号棟別館竣工
 2024年 5月 「シード本社ビル」竣工



「東京コンタクトレンズ研究所」
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森



本社ビル

参考資料:取扱商品

コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズに
きめ細かく対応しています

■国産 シードPureシリーズ



シード1dayPure
うるおいプラス



シード2weekPure
うるおいプラス



シード1dayPure
View Support



シード1dayPure
EDOF



シード1dayPure
うるおいプラス乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用



シード1dayPure
マルチステージ



シード2weekPure
マルチステージ

Made in
Nippon



■特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト
シード Bi-Expert※
ユーソフト

※2025年3月31日終売

■従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ
全3種

■オルソケラトロジーレンズ



ブレスオーコレクト®

■シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズ



シード1daySilfa



© SEED Co., Ltd. All Rights Reserved.

参考資料:取扱商品

■サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用



シード Eye coffret 1day UV M View Support

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC

遠近両用



シード Eye coffret 1day UV M Multistage

■カラーレンズ



ヒロインメイク 1day UV M



ベルミー

■シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズ



シード AirGrade 1day UV W-Moisture



シード AirGrade 2week UV W-Moisture

■シードFineシリーズ

乱視用



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン
オルソケラトロジーレンズ(ブレスオーコレクト)
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フォレストリーフ うるおいW
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

参考資料:新パーパス・コーポレートロゴの策定

2024年10月9日に当社の存在意義を明確化したパーパスの策定及びコーポレートロゴの一新を行いました。当社は、多様な「みえる」喜びを創造できる社会の実現を目指してまいります。

まだみぬ、世界は、美しい

人間の、みることへの欲求は、とどまることを知らない。
近くだって遠くだって。今も未来も。できるだけ永く。
人生にコンタクトするレンズには無限の可能性があります。
私たちはジャパंकオリティの誇りと飽くなき挑戦心で、
眼に関する多様な課題解決に、力を注いできました。
移りかわりが早く、先ゆきがみえにくい世の中だからこそ、
レンズをとおして、新たな未来をみわたしたい。
あなたと、まだみぬ美しい世界へ。SEEDが寄り添います。



パーパス策定の背景

当社は、これまで多くのお客様に商品への愛着を持っていた
だけよう、ブランディングやマーケティングを積極的に行い、
一定の成果をあげてきました。
しかしながら、今後、海外展開や幅広い領域にブランド価値を
広めていく中で、多様なステークホルダーから共感され、選ば
れることを目指して、今一度当社の存在意義を見つめ直し、
新しいメッセージとしてパーパスを策定しております。

パーパスには、お客さまにコンタクトレンズを通して、“まだみ
ぬ世界”へ期待を抱き、新たな世界や景色と出会っていただ
きたいという想いが込められております。

多様な人材の確保

■働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務制度
- ・フレックスタイム制
- ・育児短時間勤務の拡大(小6まで)
- ・男性育休制度の推進
- ・病児保育料補助手当の支給
- ・奨学金返還支援制度の導入

■ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

- ・外国籍社員雇用
- ・越境在宅勤務制度の採用
- ・パートナーシップ制度祝金等の LGBTQ 支援制度策定

■障がい者雇用の推進

「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定

災害対策

■自然災害、人災損害による被害の極少化への取組み

- ・BCPの恒常的な推進
- ・物流拠点の分散化
- ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
- ・災害時における安否確認システムの導入
- ・各事業所や全社用車への防災備品設置
- ・企業主導型保育園との防災連携
- ・災害時における一斉帰宅抑制の推進
 - *東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定
- ・シードと文京区が連携し「災害時における行政手続の活動支援に関する協定」を締結

■「eye×防災」の啓発

- ・災害に対する事前の備えとして、日頃から気をつけておきたい眼の防災に関する啓発を実施

参考資料:サステナビリティ

地域・社会の課題解決に向けた取り組み

■行政との連携

- ・埼玉県鴻巣市包括協定締結
- ▶ブリスター回収活動における覚書締結(2024年4月)
- ・「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
- ▶埼玉県三芳町・吉見町

■「SEED Projects Of Road To Sports」の活動

- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED Presentsスターティングキッズ」の企画協賛
- ・ラグビーチーム「ヤクルトレビんズ戸田」へコンタクトレンズの提供
- ・プロサッカー клуб「FC今治」への協賛、所属選手へのコンタクトレンズの提供

■出前授業の実施

- ・教育機関(小・中・高・大学他)への出前授業

■積極的な地域活動への参加

- ・子供向け工場見学、理科実験教室開催

■芙蓉・女子美Venusファンドに賛同、展示場所を提供



環境への取り組み



■環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

■本社建設資金についてグリーンローン調達を実施

■エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

太陽光発電、エネルギー管理システム構築、水資源の再利用

■「シード1dayPureうるおいプラス96枚パック」 パッケージリニューアル

包装資材使用量の大幅カットで温室効果ガス排出量を削減

■「シードエコロジーマーク」の策定

■サーキュラーエコノミーシステムの構築

- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化

*日本政策投資銀行「DBJ環境格付」取得

*令和3年度 彩の国埼玉環境大賞を受賞

参考資料:株主優待制度

株主優待対象
となる株主さま

毎年3月31日を基準日として、前年3月31日、前年9月30日および3月31日現在の株主名簿に1単位(100株)以上の保有記録が、同一株主番号で3回以上連続の記載または記録がある株主さま。

コース	優待内容	保有株式数	保有年数	
Aコース	株主優待券	100株以上	1年以上継続保有	
Bコース	当社コンタクトレンズケア用品セット	100株以上	1年以上継続保有	
Cコース	寄付・名産品・QUOカード ※いずれか1つお選びいただけます		1年以上3年未満継続保有	3年以上継続保有
		100株以上1,000株未満	1,000pt	3,000pt
		1,000株以上3,000株未満	3,000pt	5,000pt
		3,000株以上10,000株未満	4,000pt	6,000pt
		10,000株以上	8,000pt	10,000pt

優待利回り(100株以上1,000株未満の場合※)
1年以上3年未満継続保有 2.1%
3年以上継続保有 6.2%

配当利回り 3.1%

詳細はP28をご覧ください。

※ 1pt=1円換算にて算定、2025年3月31日 株価(終値)487 円

参考資料:シードに関する情報を公式ホームページやSNSで発信

SNS

シード公式

・TVCM

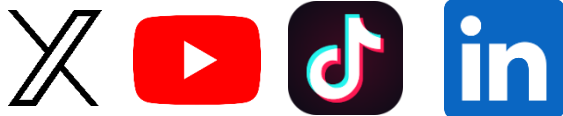
・製品説明動画

・決算説明会、株主総会、IRイベント

・IR動画

・CSR活動(理科実験教室)

・イベントの告知



【商品アカウント】

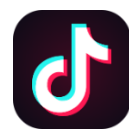
シード1dayPure View Support



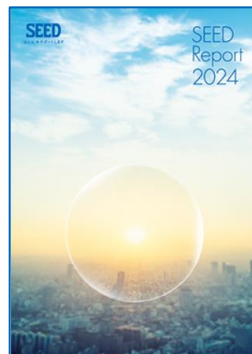
シード Eye coffret 1day UV M



ベルミー



当社HP



決算説明会・株主総会資料

中期経営計画説明会資料

IRレポート

統合報告書

その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日(月)より、
個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



参考資料:シードグループ

国内子会社

*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

株式会社シードファシリティサービス

海外子会社

*上海実瞳光学科技有限公司(中国)

SEED CONTACT LENS(M)SDN.BHD
(マレーシア)

上海実瞳商務咨询有限公司(中国)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.
(ベトナム)

*上海実瞳健康科技有限公司(中国)

*SEED Contact Lens Europe GmbH
(ドイツ)

上海実瞳視光医療科技有限公司(中国)

*Wöhlk Contactlinsen GmbH
(ドイツ)

*香港実瞳健康科技有限公司(香港)

*Sensimed SA
(スイス)

*台灣實瞳股份有限公司(台湾)

*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.
(イギリス)

*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.
(シンガポール)

*Ultravision international Ltd.
(イギリス)

※2025年3月現在
*:連結子会社

※4月よりScotlens Holdings LimitedはContact Lens Precision Laboratories Ltd.の子会社になります
※マレーシア・ベトナム: 4月より連結対象範囲になります

まだみぬ、世界は、美しい



本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。